

目標達成計画

事業所名 グループホーム 小松島
 作成日: 平成 23 年 1 月 13 日

別紙2

目標達成計画は、評価結果をもとに事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、次のステップへ向けて取り組んでいく目標を具体的に設定し、記入します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の質向上をめざして優先して取り組む点を話し合います。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	現時点では入居者のうち どなたがターミナルケアを希望されているか不明である。	ターミナルケアの整備 (マニュアル作り)	① 家族の意向を聞く 今後状態が悪くなった時 どうされるか聞いておく (病院へ行くか、グループホーム グループホームでの出来る事 出来ない事の説明)	10 か月
2				ターミナルステージには 出来るだけ家族の方に 付添って頂く	10 か月
3					10 か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入してください。

ターミナルケア 指針

—グループホームで最期を迎えるということ—

グループホーム小松島

1. 当グループホームでの診療範囲を説明した上で、本人又は御家族の意向を確認する。
2. その入居者が当グループホームでのターミナルケアが可能な状態であるか否かの判断を主治医あるいは協力支援施設（小松島病院）の医師に仰ぐ。
3. 主治医、協力支援施設（小松島病院）の医師による往診、夜間対応についての説明を行い、理解を得た上で、ターミナルステージには、家族の方に出来る範囲で付き添っていただく。
4. 全職員がターミナルケアの目的、意義を理解した上で、同じ気持ちになってそのケアに取り組んでいく。

平成 18 年 4 月 1 日

ターミナルケア 指針

—グループホームで最期を迎えるということ—

グループホーム小松島

1. 当グループホームでの診療範囲を説明した上で、本人又は御家族の意向を確認する。
2. その入居者が当グループホームでのターミナルケアが可能な状態であるか否かの判断を主治医あるいは協力支援施設（小松島病院）の医師に仰ぐ。
3. 主治医、協力支援施設（小松島病院）の医師による往診、夜間対応についての説明を行い、理解を得た上で、ターミナルステージには、家族の方に出来る範囲で付き添っていただく。
4. 全職員がターミナルケアの目的、意義を理解した上で、同じ気持ちになってそのケアに取り組んでいく。

平成 18 年 4 月 1 日